

英國總領事ヨリ十六日附半公信ヲ以テ當地英米煙草ト財政廳間ニ於ケル統稅支拂ニ關スル紛議ニ付日本當局ニ對シ本官ノ斡旋ヲ得タキ旨申越シタル處右公信附屬ノ同社支配人ノ英國總領事宛書翰ニ依レハ當地英米煙草ノ意向ハ當地英facto authoritative office) タル財政廳ニ支拂フヲ非トシ正式ニ承認セラレタル省政府成立迄統稅ヲ英國總領事館ニ供託セントスルニアリ元來本件統稅納付ニ關シテハ昭和四年當地財政廳ト英米煙草並東亞煙草トノ間ニ夫々契約締結セラレ居リ現在東亞煙草ニ於テハ右契約通納付シ居リ且財政廳ニ邦人顧問アリト雖本件統稅問題ハ純然タル英支間ノ問題ニシテ本官ノ關與スヘキ筋合ニアラサルヲ以テ英國總

セラレ居リ現在東亞煙草ニ於テハ右契約通納付シ居リ且財政廳ニ邦人顧問アリト雖本件統稅問題ハ純然タル英支間ノ問題ニシテ本官ノ關與スヘキ筋合ニアラサルヲ以テ英國總

セラレ居リ現在東亞煙草ニ於テハ右契約通納付シ居リ且財政廳ニ邦人顧問アリト雖本件統稅問題ハ純然タル英支間ノ問題ニシテ本官ノ關與スヘキ筋合ニアラサルヲ以テ英國總

領事ニ對シテハ右趣旨ニ依リ然ルヘク應酬シ置ク所存ナリ尙本官歸朝中當地軍側ヨリ本件ニ關シ英米煙草ノ統稅納付ヲ強要スル爲財政廳ヲシテ同社ノ倉庫ヲ差押ヘシメタキ趣ヲ以テ當館ノ意見ヲ尋ネ來レルニ依リ同社製品カ支那人ノ手ニ渡レル後之ヲ差押フルコトトセハ第三國關係上問題ヲ起スノ懸念ナク結局英國側ニ於テ折レ來ルヘク前記統稅ニ關スル契約成立前ニ於テハ支那側ハ常ニ右手段ニ依リ實際的效果ヲ擧ケ來レル旨ヲ述ヘ置キタル趣ナリ

支、北平へ轉電セリ

### 付 綿糸統一税関係

573 昭和6年1月3日

幣原外務大臣より  
在中國重光臨時代理公使宛（電報）

統一税施行地域および徵收機關に關し関東長

官より照会につき查報方訓令

本省 1月3日後3時0分発

第六號（暗）

綿絲統一税交渉妥結ノ上ハ関東州内製產ノ綿織糸モ民國輸入ノ際消費稅ヲ課セラルヽコトヽナルヘキニ付右交渉最近進捗ノ模様ハ関東長官へ参考ノ為大要内報シ置キタル處今長官ヨリ左記ノ点照會越セリ當方ヨリ回答ノ都合アルニ付何分ノ儀折返シ御回電アリ度シ

一、滿洲及山東省ハ統一税施行地域ナリヤ（註関東州製產綿糸ニ對スル消費稅免除ノ希望ト関係アルモノナリ）  
二、統一税及消費稅ヲ徵收スル機關ハ海關ナリヤ又地方稅局ナリヤ

~~~~~

574 昭和6年1月7日

在中国重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

綿糸統一税の施行区域は民國全体が建前なれ  
ど東北、山東省は恐らく除外について

上海 1月7日後発

本省 1月7日後着

第一號

貴電第六號ニ關シ

當業者ヲシテ統稅局側に就キ確メシメタル結果左ノ通

一、綿糸統一税施行區域ハ民國全体トスル建前ニテ現ニ當業者トノ契約ノ條項ニ於テモ右ノ建前ヲ執リ居リ唯事實上施行不可能ノ地域ハ追テ統稅局ヨリ文書ニテ當業者ニ通知スルコトトナシ居ル處右除外區域ハ今尚確定セサルカ如ク滿洲及山東省ハ恐ラク除外セサルモノト認メラル分明次第電報スヘン  
二、統一税ノ徵收ハ財政部ニ設ケラル可キ統稅局及其ノ地方分局ニ依リ行ハルヘキ筈ナルカ唯輸入綿糸ニ對スル消費稅（excise）ハ右統稅局ヨリ海關ニ特派セラルヘキ徵稅官之ヲ徵收スルコトナルヘク其ノ手續ハ未タ確定セサルモ

綿糸ノ輸入申告書（輸入税ノ爲ノ）ニ基キ右特派徵稅官ハ  
消費稅ノ duty memo ヲ作製シ輸入者ハ之ニ依リ輸入税ノ  
外消費稅ヲ納付シ初メテ荷物ヲ海關ヨリ引取り得ルコトト  
ナルヘシ

貴電第六號ト共ニ南京ニ暗送セリ

貴電第一〇號ニ關シ

本件契約ハ其ノ後當業者ト民國側當局トノ間ニ引續キ交渉  
中ニシテ決定成立シ居ラサルモ税率ノ點ヲ除キ双方ノ意見  
大体一致シ得ルモノノ如ク目下主トシテ技術的方面ヨリ最  
終案ノ起草ヲ商議シ居リ當業者トシテハ民國側ニ於テ本件  
法規ヲ公布スル迄ニ調印ヲ行フ心組ナルモ萬一之ニ間ニ合  
ハサル場合ニハ契約實施ニ至ル迄ノ過渡的辦法ヲモ併セ協  
議スル用意アリ又税率ニ付テハ立法院ノ決定ニ從フヘキ意  
向ノ趣ナリ

貴電第一一號ニ關シ

當業者トノ本件契約ハ成立シタル次第ナリヤ至急御回電ア  
リ度シ

575 昭和6年1月8日 勅原外務大臣より  
在中國重光臨時代理公使宛（電報）  
綿糸統一税契約成立したるや至急回電方訓令  
本省 1月8日後7時10分発

第一〇號（暗、至急）

貴電第一一號ニ關シ

當業者トノ本件契約ハ成立シタル次第ナリヤ至急御回電ア  
リ度シ

576 昭和6年1月9日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）  
綿糸統一税交渉は繼續中にて税率を除き双方意見  
大体一致しおり最終案の起草を商議中について

577 昭和6年1月10日 勅原外務大臣より  
在旅順太田関東長官宛（電報）  
綿糸統一税施行区域並び徵稅機關等に關し回  
電について  
本省 1月10日後8時25分発

第五號（暗）

578 昭和6年1月(13)日 在上海村井總領事より  
幣原外務大臣宛（電報）  
統一税の実施は二月一日、特殊消費稅は統稅  
実施より遅れる予定との新聞報道について  
上 海 発  
本省 1月13日前着

第一一號

往電第一〇號ニ關シ

統一稅及特殊消費稅徵收準備ニ關スル新聞報道左ノ通  
一、統一稅（既報四大貨物ノ外卷煙草ヨリモ徵收）ハ當地  
海關建物内ニ財政部所管統稅處ヲ置キ江蘇、浙江、安  
徽三省ノ統稅總局ヲ元ノ煙草特稅局（威海衛路）内ニ  
又主要各地ニ徵稅局又ハ分局ヲ設ケ徵稅準備中ナルカ  
目下立法院ニテ審議中ノ稅率案ノ通過ヲ待チ徵稅ヲ開  
始スヘク實施期日ハ二月一日トナルヘシ

二、統一稅ノ徵收ハ財政部ニ設ケラルヘキ統稅局荷物ヲ海  
關ヨリ引取り得ルコト、ナルヘシ（以上）

尚客年十二月廿七日附滿洲福紡ヨリ貴官宛陳情書中輸  
入綿糸ニ對スル消費稅ハ統一稅ヨリ高率ナル旨記載シ  
アル處統一稅々率ハ未タ彼我意見一致ヲ見サル趣ナル  
モ消費稅ハ統一稅ニ比シ稅率高カラザルベキ筈ニテ  
(多分全一率ナルベシ)前記陳情ハ消費稅トシテ金單  
位ニテ表示セラレタル數字ヲ海關兩ノ數字ト誤解シタ  
ル結果ト認メラル爲念

上海 1月9日後発  
本省 1月9日後着

ケ系統ト同時ニ實施セラル由ナル力同税率ハ當地海關内ノ稅則委員會ニ於テ既ニ決定シ目下分等表作成中ナレハ宋子文ノ歸寧ヲ待チ公布セラル運トナルヘキモ其ノ實施ハ統稅ヨリ遅ルヤモ知レサル由ナリ

北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、廣東、蘇州、杭州、蕪湖へ轉電シ、代理公使へ轉報セリ

露シタルヲ以テ當業者トノ契約ハ右稅率ヲ採用シ近ク細目ノ協定ヲ了シ二月一日迄ニ成立ノ見込ナル趣ナリ

579 昭和6年1月20日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

綿系統稅規則が立法院を通過、三月一日より

実施と船津が民國側委員より聞込みについて

上 海 1月20日後発  
本 省 1月21日前着

第五八號 往電第一九號ニ關シ

二十日船津ノ報告ニ依レハ民國側委員ハ綿系統稅規則ハ十七日立法院ヲ通過シ稅率ハ生ノモノ二十三番手以下二、七五元（銀弗）二十四番手以上三、七五元（生以外ノモノハ從價稅）トナリ二月一日ヨリ實施ノコトニ決シタル旨ヲ披

廿四日ノ當地新聞ハ統一稅率ハ既ニ立法院ヲ通過シタルニ付廿三日ノ國務會議ニ上程シ其ノ可決ヲ俟チ多分今週中ニ公布セラルヘク新稅率ハ左ノ通ナル旨報セリ

尙別ニ國內綿絲保護辦法五ヶ條ヲ制定シ（「マッヂ」及「セメント」ハ輸入稅率ヲ引上ケ保護セルニ付獎勵金ヲ交付スル要ナシト）右ト同時ニ施行スルヤニ報シ居レリ（右辦法內容探查方手配中ニ付追テ報告ス）

一、綿系統稅ハ重光代理公使發往電第五八號ノ通  
二、「マッヂ」ハ大箱一箱每ニ五元、七元五十仙、十元ノ

580 昭和6年1月21日 在上海村井總領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

綿系統一稅と別に國內綿絲保護弁法五箇条を  
同時に施行する旨の新聞報道について

上 海 1月21日後着  
本 省 1月21日前着

第二六號

廿四日ノ當地新聞ハ統一稅率ハ既ニ立法院ヲ通過シタルニ付廿三日ノ國務會議ニ上程シ其ノ可決ヲ俟チ多分今週中ニ

公布セラルヘク新稅率ハ左ノ通ナル旨報セリ

尙別ニ國內綿絲保護辦法五ヶ條ヲ制定シ（「マッヂ」及「セメント」ハ輸入稅率ヲ引上ケ保護セルニ付獎勵金ヲ交

付スル要ナシト）右ト同時ニ施行スルヤニ報シ居レリ（右辦法內容探查方手配中ニ付追テ報告ス）

一、綿系統稅ハ重光代理公使發往電第五八號ノ通  
二、「マッヂ」ハ大箱一箱每ニ五元、七元五十仙、十元ノ

三種トス

三、「セメント」ハ三百八十封度入一桶每ニ六十仙トシ一桶十元十仙以上ノ價格ノモノハ比例課稅ス

代理公使ニ轉報セリ

北平、青島、天津、漢口、廣東、南京へ轉電セリ

581 昭和6年1月21日 在上海橫竹（平太郎）商務參事官より  
幣原外務大臣宛

綿製品への新統一稅實施と中外商品の負担比

較について

商機密第二五號

昭和六年一月二十一日

（1月29日接受）

上海駐在商務參事官

橫竹 平太郎〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿  
綿製品新統一稅實施ト中外商品負擔比較ノ件

本件ニ關シテハ曩ニ十二月二十四日附商機密第三七〇號號信ヲ以テ御報告申上置キタル處其後紡績側ト中國政府トノ交渉漸次接近シ愈々立法院ヲ通過シ來ル二月一日ヨリ向フ

二ヶ年半綿糸二三番手以下一擔ニ付銀二弗七五仙二三番手以上同三弗七五仙生地以外綿糸從價五分ノ新稅率實施ニ決定セラレタル事情ハ既ニ御承知ノ事ト存ズ  
就テハ新統一稅實施ノ曉ニ於ケル中外製品得失比較別表ノ通リト相成ル次第御諒承被下度  
又新統一稅ハ在華製品綿糸布ニ課セラル処輸入品ニ對シテモ中日關稅協定ニ基キ現行輸入稅ノ外同額丈徵收セラル事ト相成リ兩者關係比較別表ニヨリ御了承相成度尙ホ別表ニテ御覽ノ通リ中國財政部案ノ金建ナリシニ對シ立法院通過決定ノモノハ銀元建トナリ殆ンド在華日本紡績側最後案ニ同程度迄引下ゲラレ在華邦人紡績側ノ主張モ大部貫徹セラレタル次第ナリ要スルニ新統一稅ハ銀價ノ變動ニ依リ貿擔額ニ變化アルコト勿論ナルモ何レノ場合ニ於テモ中外兩品ハ輸入正稅額丈ノ開キヲ生ズル事トナリ從來ノ單一稅ノ場合ニ較ベ外國品トシテハ余程有利トナリタル點御含置相成度

寫 代理公使 上海 南京

582 昭和6年1月23日 在華日本紡績同業会武井（綾藏）委員長より  
幣原外務大臣宛

## 一税交渉妥結につき感謝について

昭和六年一月廿三日 (1月27日接受)

在華日本紡績同業會

委員長 武居 綾藏〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 閣下

拜啓愈御清祥奉大賀候陳者一昨年以來ノ懸案タリシ中華民國統一税率確定致候趣今般當會上海本部ヨリ通知ニ接シ候處右ニ就キ御配慮ニ預リ候段感謝ノ至ニ不堪候尙本契約完成ニ付キ此上トモ御高配賜り度先ハ右御挨拶申上度如此御座候

敬具

583 昭和6年1月28日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

鐵道運賃差別問題につき宋子文財政部長に尽  
力方依頼について

南京 1月28日後発  
本省 1月29日前着

南京 1月27日後発  
本省 2月2日後着

南京 1月28日後発  
本省 1月29日前着

南京 2月2日後着  
本省 2月2日後着

往電第八一號ニ關聯シ  
廿八日宋部長ト會談ノ際

鐵道差別運賃ニ關シ話出テタルニ付本官ヨリ右ハ日本側ニ於テ重大視シ居リ日本政府ハ王外交部長ノ本官ニ對スル證言及貴下ノ盡力ニ依頼シ其ノ結果ヲ待チ居ル次第ナルモ今日迄效果ナク我方ノ最利害關係ヲ有スル山東鐵道ニ付テ特ニ苦痛ヲ感スル爲我輿論ニモ惡影響ヲ及ボシツタル次第ナリト説明シ一層ノ盡力ヲ促シ置キタル上本件及統一稅拂戻ニ關スル立法院ノ態度ノ如キハ中國ニ對シテ幸ニ漸次増進シツツアル信賴ノ念ヲ頓ニ冷却セシムル次第ニテ大局上極メテ不得策ナル旨ヲ述ヘタルカ  
宋ハ終始同感ノ意ヲ表シ立法院等ノ偏見ヲ指摘シ更ニ努力ヲ吝マスト語リ居タリ御参考迄  
北平、青島、奉天へ轉電シ南京、上海へ轉報セリ

584 昭和6年1月29日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

統稅局が綿糸統一稅の契約期限を一年に変更  
したい旨申し出た理由について

南京 1月29日後発  
本省 1月29日後着

第八九號

往電第八一號ニ關シ

統一稅ニ關スル我方當業者ト統稅局トノ交渉ニ於テ契約ノ期限ヲ二年半トスルコトニハ初メヨリ先方モ異存ナカリシコト御承知ノ通ナル處廿八日午前突然先方ヨリ船津ニ對シ

右期限ヲ一年ニ變更シタシト申出テ右ハ宋部長ノ命ニシテ

理由ヲ知ラスト述ヘタル趣ナリ右ハ冒頭往電ニ依リ御承知ノ通宋子文ハ内外人工場ノ差別待遇ニ關スル立法院ノ修正ヲ撤回セシムル爲稅率ノ點ヲ讓歩シタルヲ以テ本件契約ニ

已ムナキニ至リタルカ爲成ルヘク速ニ右稅率ヲ變更シ得ル様之力期間ヲ一年ニ短縮セントスルニ至リタルモノナルカ

尙内（外）人差別待遇ノ條項削除方ニ付宋ノ立法院ニ對スル折衝カ頗ル困難ナリシコトハ一月十七日立法院ヲ通過シタル（往電第五八號參照）統稅條例要領ハ（右要領ハ内國人工場ニ對スル點ヲ含ミ居タルコト廿二日在上海總領事發閣下宛電報御參照）廿二日新聞ニ公表セラレ居ルニ拘ハラス廿八日政府公報ニ本條例ノ公布ヲ宣布シタルモ宋ト立法院トノ間ニ妥協シタル最終條文ハ同日夜ニ至ルモ假印刷ヲ了セヌ本廿九日朝ニ至リ漸ク之ヲシタル模様ナル事實ニ徵シテモ明カナリ

南京、上海へ轉報セリ

585 昭和6年2月2日 在上海橫竹商務參事官より  
幣原外務大臣宛（電報）

高度化を進めることで好況の在華紡に比べ中国民族紡は當業者が投機に趨り業績芳しからざるについて

南京 2月2日後着  
本省 2月2日後着

如シ

商第七號

當地邦人紡績ハ關稅ノ引上及銀價變動ノ機會ヲ利用シ太絲ハ不振ナカラ細絲及瓦斯絲ハ莫大ノ利益アリ異常ノ好況ヲ示シ尙年内二十五萬錘ヲ增錘サルモノノ如ク綿布亦低級品ヨリ漸次高級品ニ進ミツツアリ即チ最近迄自働織機ヲ使

用シタルモノ豊田紡ノ三百臺丈ナリシカ新ニ上海紡力七百五十臺ヲ裝置シ一部ハ既ニ運轉ヲ開始シ内外綿亦擴張計畫ヲ立テ本年中ニ前者ヲ二千臺輸入四〇番手級綿製品四綾五枚等ヲ目標トシ高級綿絲ヲ製造スル模様テアリ東洋紡（華名裕豐）亦年内ニ一千餘臺ヲ据付ケントシ其ノ他ニモ高級品ヲ試織セルモノアリ染色ニモ内外綿カ一カ月五枚ヲ六百箱製造四綾捺染ヲ試験中ナル外其ノ他紡績ニモ試験中ノモノアリテ好況ヲ持續セルニ對比シ華人經營紡績ハ資本薄弱ニテ經營芳シカラサルニ當業者力事業經營ヨリモ投機ニ趨リ勝ニテ業績面白カラス昨年來爲替、金相場、棉花、綿絲等先物定期取引ニ依ル損失相當ニ上リ既ニ三新紡績ハ「ダラ」汽船ニ賣却緯通亦閉鎖シテ賣物ニ出シ其ノ他厚生、鴻章、同昌、溥益亦整理或ハ賣却ノ噂アリ二大紡績ト稱シテ誇リタル永安、甲新、紡績亦不振ニテ何レモ經營難ニ苦ミツツアリ

用シタルモノ豊田紡ノ三百臺丈ナリシカ新ニ上海紡力七百五十臺ヲ裝置シ一部ハ既ニ運轉ヲ開始シ内外綿亦擴張計畫ヲ立テ本年中ニ前者ヲ二千臺輸入四〇番手級綿製品四綾五枚等ヲ目標トシ高級綿絲ヲ製造スル模様テアリ東洋紡（華名裕豐）亦年内ニ一千餘臺ヲ据付ケントシ其ノ他ニモ高級品ヲ試織セルモノアリ染色ニモ内外綿カ一カ月五枚ヲ六百箱製造四綾捺染ヲ試験中ナル外其ノ他紡績ニモ試験中ノモノアリテ好況ヲ持續セルニ對比シ華人經營紡績ハ資本薄弱ニテ經營芳シカラサルニ當業者力事業經營ヨリモ投機ニ趨リ勝ニテ業績面白カラス昨年來爲替、金相場、棉花、綿絲等先物定期取引ニ依ル損失相當ニ上リ既ニ三新紡績ハ「ダラ」汽船ニ賣却緯通亦閉鎖シテ賣物ニ出シ其ノ他厚生、鴻章、同昌、溥益亦整理或ハ賣却ノ噂アリ二大紡績ト稱シテ誇リタル永安、甲新、紡績亦不振ニテ何レモ經營難ニ苦ミツツアリ

586 昭和6年2月4日 在中国矢野公使館參事官より

幣原外務大臣宛（電報）

鐵道運賃差別問題に対する列国との協同動作 方につき請訓

用シタルモノ豊田紡ノ三百臺丈ナリシカ新ニ上海紡力七百五十臺ヲ裝置シ一部ハ既ニ運轉ヲ開始シ内外綿亦擴張計畫ヲ立テ本年中ニ前者ヲ二千臺輸入四〇番手級綿製品四綾五枚等ヲ目標トシ高級綿絲ヲ製造スル模様テアリ東洋紡（華名裕豐）亦年内ニ一千餘臺ヲ据付ケントシ其ノ他ニモ高級品ヲ試織セルモノアリ染色ニモ内外綿カ一カ月五枚ヲ六百箱製造四綾捺染ヲ試験中ナル外其ノ他紡績ニモ試験中ノモノアリテ好況ヲ持續セルニ對比シ華人經營紡績ハ資本薄弱ニテ經營芳シカラサルニ當業者力事業經營ヨリモ投機ニ趨リ勝ニテ業績面白カラス昨年來爲替、金相場、棉花、綿絲等先物定期取引ニ依ル損失相當ニ上リ既ニ三新紡績ハ「ダラ」汽船ニ賣却緯通亦閉鎖シテ賣物ニ出シ其ノ他厚生、鴻章、同昌、溥益亦整理或ハ賣却ノ噂アリ二大紡績ト稱シテ誇リタル永安、甲新、紡績亦不振ニテ何レモ經營難ニ苦ミツツアリ

第四三號 鐵道運賃差別待遇ノ件ニ關シ今般首席公使ヨリ村井總領事發閣下宛第四〇號及同第六九號機密公信添付ノ上海聯合商業會議所及上海首席領事ノ書翰ヲ回覽ニ附スルト共ニ首席公使トシテハ本件ニ關シ支那ニ對シテナセル「レプレゼンテーション」カ凡テ無回答ニ終リ居ル經緯ニ鑑ミ今後本件ニ付何等措置ヲ執ルトセハ各公使館ヨリノ「アイデンティifik、ノート」又ハ各館長ノ署名「コレクチヴ、ノート」ノ形式ヲ以テスルノ外ナシト思考スル旨申添ヘ支那側へ申入レ案文ヲ添付各同僚ノ意見ヲ求メ來レリ

昨夏以來支那力首席公使ノ政治的機能否定ノ態度ニ出テ居ルハ御承知ノ通ナルカ此ノ際同公使申出ノ如キ方法ニ依ルコトハ支那側ノ主張ニ屈服スルカ如キ形トナリ面白カラサ

ルモサリトテ有效ナル對抗方法ナキ以上已ムヲ得サル儀力ト思考スル趣右ハ今後ノ前例トナルヘキ次付本件ニ關スル措置振至急御回電アリタシ  
代理公使ヨリ上海へ轉報アリタシ  
支、南京、天津、青島、奉天へ轉電セリ

587 昭和6年2月5日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

綿系統一税に關する在華紡績連合会と統税当局との契約条項の主な内容について

本省 2月5日前着  
上海 2月5日後発

本官發天津宛電報第三號

貴電第四二號ニ關シ

綿系統一税ニ關スル在支紡績聯合會側ト統稅當局トノ契約締結方ニ付テハ客年四月頃ヨリ兩者ノ間ニ開談シ昨今漸ク纏ラントシツツアル處其ノ條項ノ重ナルモノハ（不當課稅ノ戻稅）聯合會工場ニ對シ差別待遇ヲ設ケサルコト（有効

588 昭和6年2月7日 在中國重光臨時代理公使宛（電報）  
幣原外務大臣より  
鉄道運賃差別撤廢のため各國公館より同文電  
報による抗議提出させる様交渉方訓令  
北平發本大臣宛電報第四三號ニ關シ  
第四八號（暗）  
本件ニ對スル當方ノ意向ハ御承知ノ通ニテ差別待遇撤廢方ニ關シテハ引續キ御盡力中ノコトト思考スル處此ノ際關係諸國ノ協同動作ヲ取ルコトカ貴方從来ノ交渉ヲ促進スル所以ト認メラルニ於テハ右御取運方北平ヘ電報アリ度シ尤モ其ノ場合ニ於テモ形式トシテハ「アイデンチック・ノート」ノ方好マシト思考セラル

北平來電同様轉電アリ度シ

公使ヨリ上海へ轉報アリタシ  
大臣、南京へ轉電セリ

北平來電同様轉電アリ度シ

589 昭和6年2月9日 在中国矢野公使館參事官より  
幣原外務大臣宛(電報)

英米両国とも鉄道運賃差別撤廃に消極的故同文

電報を国民政府に提出する外なき旨重光宛電報

北平 2月9日後発

本省 2月10日後着

第四六號

本官發代理公使宛電報

第三五號

大臣發貴官宛電報第四八號ニ關シ

館員ヲシテ本件ニ關スル英米側ノ態度ヲ問合サシメタル所  
米國側ニ於テハ本件ニ付最近南京政府ニ對シ獨立ニ抗議濟  
ノ關係モアリ共同動作ニハ全ク氣乗リセサルモ若シ何等力  
措置ヲ執ルトセハ「アイデンティック、ノート」ヲ可トス  
トノ意見ニテ又英國側モ同様「アイデンティック、ノート」  
ニ依ルヲ可トストノ「オブザーヴエイション」ヲ回章ニ附  
記セル趣ナル由ナリ御参考迄

590 昭和6年2月10日 在中国重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)鉄道運賃差別問題については中國内部から解決  
を計ると共に对外的には通商平衡待遇の精神か  
ら列国と協調すべき旨矢野參事官宛電報

上海 2月10日後発

本省 2月10日後着

第一二九號

本官發北平宛電報

第一〇號ノ一

大臣發本官宛電報第四八號ニ關シ

(一)民國政府部内ニ於テ理想派ハ事每ニ國權回復論ヲ主張ス  
ル傾向アリ現實派ハ出來得ル限り穩健政策ヲ以テ之ヲ緩  
和セムト努メ居ル次第ハ本官發大臣宛電報第一二一號等  
ニ依リ御承知ノ通ナル處鐵道運賃差別待遇ノ問題モ亦同  
様ニシテ即チ本案ハ胡漢民一派ノ孔祥熙、孫科等カ國內

産業ノ勃興ヲ計ル爲外人企業ニ對シ差別待遇ヲ與ヘムト  
スルモノニシテ彼等ハ右ニ依リ列國ノ經濟的帝國主義ノ  
侵略ヲ排除シ得ヘシト宣傳シ之カ維持ニ努力シ居レル狀  
態ナリ宋子文、王正廷等ハ關稅交涉ニ際シ本官ニ與ヘタ  
ル言質ノ手前モアリ右差別運賃ノ排除ヲ支持シ居リ本官  
ニ於テ右兩人ト接觸シ内部ヨリ之カ匡正方ヲ督促シ居ル  
次第ハ屢次ノ電報ニ依リ御承知ノ通ナリ

(二)近ク開カルヘキ鐵道會議迄ニ中國側内部ニ於テ差別運賃  
撤廢ノ決定ヲ爲サシムル爲此ノ際速ニ外交團ヨリ抗議ヲ  
提出シテ列國一致ノ態度ヲ示スコトハ相當ノ效果アルモ  
ノト認ム尤モ之カ爲ニハ右抗議ノ理由ハ從來ノ如キ條約  
論ヲ重ヌルモ九國條約ノミニテハ先方ヲ承服セシメ難ク  
本官發北平宛電報

第一〇號ノ二

又會議所側引用ノ日英米關稅條約ハ解釋上本件差別待遇ヲ  
廢棄スルニ足ラサルコト御承知ノ通ナルヲ以テ今回ノ抗議

ニ於テハ例ヘハ列國側ハ九國條約ノ解釋論ニ付テハ從來ノ  
主張ヲ放棄スルモノニ非サルコトヲ指示スルト共ニ之ニ拘  
泥スルヲ避ケ外國貨物ニ對スル一般的差別待遇ハ他國ニ於

大臣、奉天、青島、天津へ轉電シ南京、上海へ暗送セリ

591 昭和6年2月10日 在中国重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)

統一税実施に關する中央と東北側との話合い

の結果について

の結果について

592 昭和6年2月24日 在中国重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)綿系統一税の実施期間に關し同業会側は宋提議  
の一年を受諾方適當とし妥結を計る趣について上 海 2月10日後発  
本省 2月11日前着上 海 2月24日後発  
本省 2月24日後着

## 第一三二號

往電第一號ノ一二關シ(綿絲統一税ニ關スル件)

東北ト話合ノ結果統一税ハ東三省及三特別區ニ施行スルコトナリ

東北ト話合ノ結果統一税ハ東三省及三特別區ニ施行スルコトナリ

セラレタル場合統一税ヲ免除セラルルヤ否ヤハ今ノ所明力ナラス萬一二重ニ徵收セラルルカ如キコトアラハ前ニ納付シタル稅ヲ拂戻スヨリ外途ナシトノコトナリ尙東北側ノ統稅實施ハ如何ニ手續ヲ急クモ今後一二ヶ月ヲ要スヘシトノコトナリ

北平、奉天、天津、青島へ轉電シ奉天ヲシテ關東廳及在滿各領事へ轉電セシム

上海へ轉報セリ

## 第一八三號

往電第八九號ニ關シ

其ノ後船津ニ於テ實施期間ヲ二年半トスル爲凡ユル努力ヲ爲シタル處宋子文ニ於テハ本件契約ノ期間ヲ一年トスルコトハ國務會議ノ決定ナルノミナラスB、A、T、ノ期間ヲ六ヶ月トシタル振合及立法院トノ關係モアリ之ヲ延長スルコトハ絶對ニ不可能ナリト主張シ居リタルカ去ル十八日船津南京ニ赴キ數次宋子文ニ懇談シタル結果宋ハ漸ク同業會側カ一年後ニ稅率ノ變更ヲ認ム爾諒解ニテ一年六ヶ月ニ延長方ヲ考慮スルコトヲ承諾シタルカ右條件附延期カ果シヲ以テ同業會側ニ於テ協議ノ結果右船津宋子文交渉ノ經緯ニ鑑ミ之以上ノ延長ハ不可能ナリ又右ノ如キ條件ヲ附シテ六

ケ月ヲ延長スルヨリモ宋子文提議ノ一年ヲ受諾スル方大局上寧口適當ナリト認メ結局期限ヲ一年トシテ妥結ヲ計ルコトトセル趣ナリ

就テハ聯合會側ニ於テモ本件交渉ニ於ケル船津ノ盡力ヲ充分諒解シ右ノ決定ヲ承認スル様必要ニ應シ適宜御說示方御配慮ヲ請フ

上海、南京へ轉報セリ

593 昭和6年2月26日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛(電報)孫科鐵道部長は運賃差別取り扱い困難につき  
撤廃、新運賃率導入を談話について

廿六日孫鐵道部長ハ本官ニ對シ豫テ外交部ヲ通シテ御交渉

ノ鐵道差別運賃ノ問題ニ付テハ外交、財政、實業、鐵道四部ニ於テ研究中ニテ實業部ノ内國產業保護政策ノ爲他部ノ意見通りニ取運フコト困難ナリシカ廿四日ノ國務會議ニ於

南京へ轉報セリ

南京へ轉報セリ

南京へ轉報セリ

南京へ轉報セリ

五 国定税率および裁厘課税問題

594 昭和6年3月3日 武居在華日本紡績同業会委員長より  
幣原外務大臣宛

綿系統一税に關し契約期限を一年とする交渉  
成立し契約書交換の運びとなりたるについて

昭和六年三月三日

在華日本紡績同業會

委員長 武居 紹蔵 「印」

外務大臣 男爵 幣原 喜重郎 閣下

拜啓愈御清祥賀上候陳者支那統一税問題ニ就テハ豫テヨリ  
多大ノ御盡力ニ預リ會員一同奉鳴謝候處去ル二十三日附當  
會上海本部ヨリノ來信ニ依レバ過日御内示被下候去ル二十  
四日附重光代理公使ヨリノ來電ノ通り契約期限ヲ一ヶ年ト  
シテ交渉成立シ不日右契約書交換ノ運ビト相成候趣ニ有之  
候ニ付御諒承被下度候尙向後共此種問題ニ關シテハ一層御  
指導ノ程奉冀上候

不敢以書中御挨拶申上度如此御座候 敬 具

綿系統一税ニ關スル契約ハ本七日午后船津宋子文ノ間ニ調  
印（一月卅一日附ニテ）ヲ了セリ契約ノ要點ハ（一）期限ハ一  
年ニテ本年二月一日ヨリ實施ノコトトシ其他ニ付テハ（二）差  
別待遇防止ニ付テ統一税ノ税率及關係事項ノ均等待遇ハ契  
約中ニ規定シ原料ノ減税及鐵道運賃ノ特惠ノ均霑ハ附屬書  
翰ヲ以テ規定（特ニ後者ハ財政部ノ主管事項ニアラサルヲ  
以テ船津ト統稅局長トノ間ノ往復トセリ）セラレ居リ  
(三)又不當課稅ノ拂戾ハ納付濟統一税額ヨリ現行單一税額ヲ  
控除シタル額ヲ限度トスル旨附屬書翰ヲ以テ定メタル外從  
來ノ決定ト重要ナル相違ナシ尙施行區域ハ未タ正式ニ通  
知シ來リ居ラサル趣ナリ

契約全文郵報濟

北平、天津へ轉電シ南京、上海へ轉報セリ

596 昭和6年3月20日 幣原外務大臣より  
在中國重光臨時代理公使宛

中国をして国産品保護の見地より内外差別さ

せぬ様留意方訓令

亞一機密第六二號

昭和六年三月二十日

外務大臣男爵 幣原 喜重郎

在中華民國

臨時代理公使 重光 萩殿

鐵道運賃差別待遇ニ關スル件

本件ニ付テハ段々ノ御努力ニ依リ先般貴電孫鐵道部長内話

ノ通國務會議ニ於テ内外品ニ依ル差別待遇廢止方決定シ尚

右孫部長内話ノ際貴官ヨリ全部長ニ対シ新シキ「クラシフィ

ケーション」力更外國品ニ不利ナル影響ヲ及ホスコトナ

カラム概念ヲ押サレタル次第ナル處本月七月貴地申報ハ六

日ノ商運會議ニ於テ国産品保護ノ見地ヨリスル運賃政策ヲ

595 昭和6年3月7日 在中國重光臨時代理公使より  
幣原外務大臣宛（電報）

天津における日系企業の工場勃興氣運等について  
一税に関する契約の要点につき報告

上海 3月7日後発

本省 3月8日前着

往電第一八三號ニ關シ

第二五〇號

綿系統一税ニ關スル契約ハ本七日午后船津宋子文ノ間ニ調

印（一月卅一日附ニテ）ヲ了セリ契約ノ要點ハ（一）期限ハ一  
年ニテ本年二月一日ヨリ實施ノコトトシ其他ニ付テハ（二）差  
別待遇防止ニ付テ統一税ノ税率及關係事項ノ均等待遇ハ契

約中ニ規定シ原料ノ減税及鐵道運賃ノ特惠ノ均霑ハ附屬書  
翰ヲ以テ規定（特ニ後者ハ財政部ノ主管事項ニアラサルヲ  
以テ船津ト統稅局長トノ間ノ往復トセリ）セラレ居リ

(三)又不當課稅ノ拂戾ハ納付濟統一税額ヨリ現行單一税額ヲ  
控除シタル額ヲ限度トスル旨附屬書翰ヲ以テ定メタル外從  
來ノ決定ト重要ナル相違ナシ尙施行區域ハ未タ正式ニ通  
知シ來リ居ラサル趣ナリ

當地ニ於ケル銀價暴落等ノ影響ニ依ル邦人工場勃興ノ  
氣運ト天津工業調查委員會ノ新設ニ關スル件

銀價暴落ノ影響並ニ輸入税ノ引上ニ依リ日本製品ノ輸入抄々シカラサルニ加ヘテ國民政府ノ國內産業保護政策ト一般工業勃興ニ依リテ抬頭シ來レル中國製品ノ爲ニ次第ニ驅逐セラレムトスル形勢アルニ鑑ミ之力對應策トシテ最近本邦人ニシテ製造工場ヲ中國國內ニ設ケムトスルモノ増加ノ傾向アリ已ニ大阪世戸石鹼製造所ニテハ當租界内ニ石鹼製造工場（資本金壹萬圓）ヲ開設スルコトニ決定ヲ見タル外大阪松井號及木村商店ニ於テモ當租界内ニ化粧品製造工場ヲ設ケ主トシテ「クリーム」ノ製造ヲナサムトスル計畫アルヤニ傳ヘラル、處之等ハ製造業者並ニ當地方ニ於ケル既設工業當事者ニ對シ事業ノ計畫、維持、發展上必要ナル援助ヲ爲スコトヲ目的トシ今回天津日本人商業會議所ノ特別委員會トシテ別紙<sup>(音附)</sup>會則ニ依リ天津工業調查委員會設置セラルコトトナリ三月十七日第一回委員會ヲ開キ會ノ進行ニ關シ各自ノ意見ヲ交換シタルカ次回ヨリハ同會ノ具体的方針ニ付協議ヲ爲ス筈ナリ尙同會力諸工業家ノ參考ニ資スヘキ調査上ノ範圍ハ大体次ノ如キモノナリト云フ

三、當地ノ現狀ニ鑑ミ如何ナル種類ノ工業力有望ナリヤノ究

四、天津ニ於テ有望ト認メラル、工業ノ原料關係及其製品ノ需給狀態並ニ競爭品及代替品ノ有無ト對抗關係ノ攻

究アリ已ニ大阪世戸石鹼製造所ニテハ當租界内ニ石鹼製造工場（資本金壹萬圓）ヲ開設スルコトニ決定ヲ見タル外大阪松井號及木村商店ニ於テモ當租界内ニ化粧品製造工場ヲ設ケ主トシテ「クリーム」ノ製造ヲナサムトスル計畫アルヤニ傳ヘラル、處之等ハ製造業者並ニ當地方ニ於ケル既設工

業當事者ニ對シ事業ノ計畫、維持、發展上必要ナル援助ヲ爲スコトヲ目的トシ今回天津日本人商業會議所ノ特別委員會トシテ別紙<sup>(音附)</sup>會則ニ依リ天津工業調查委員會設置セラルコトトナリ三月十七日第一回委員會ヲ開キ會ノ進行ニ關シ各自ノ意見ヲ交換シタルカ次回ヨリハ同會ノ具体的方針ニ付協議ヲ爲ス筈ナリ尙同會力諸工業家ノ参考ニ資スヘキ調査上ノ範圍ハ大体次ノ如キモノナリト云フ

五、右工業ノ機械及固定資本所要額ノ攻究等  
右報告ス

本信寫送付先 代理公使 上海 北平  
青島 漢口 廣東  
奉天 上海商務參事官

598 昭和6年5月28日 武居在華日本紡績同業會委員長より 谷並細亞局長宛

昭和六年五月廿八日 外務省亞細亞局長 在華日本紡績同業會 委員長 武居 綾藏〔印〕

### 鉄道運賃差別の完全撤廃方請願

昭和六年五月廿八日

奉願上候  
右御報告旁得貴意度如斯御座候 敬具

一、工業資本關係  
二、工業敷地關係

谷正之殿

拜啓愈御清祥之段奉賀上候陳者豫テ膠濟鐵道貨物運賃差別待遇撤廢御交涉方ニ付得貴意候處其後本問題モ解決ノ運ニ至ル模様ニ有之關係各社安堵能在候處別紙當會船津總務理事ヨリ重光代理公使宛書面ニヨレバ差別待遇ハ今尙撤廢至サレザル様子ニ有之候ニ就テハ今後共宜敷御高配相賜り度奉願上候

599 昭和6年6月17日 勞原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛（電報）

### 鉄道運賃差別撤廃につき交渉促進方訓令

本省 6月17日後4時50分発

第二〇二號（暗）

青島發本大臣宛電報第一二二號ニ關シ

本邦當業者ニ於テハ各種ノ中國側不當措置中鐵道運賃差別待遇ハ最近内地諸工業ノ中國移轉ノ趨勢ニモ顧ミ特ニ之ヲ重要視シ其ノ撤廢方ニ關シ頻リニ陳情シ來ル次第ナル處右ニ對シテハ貴電第一八六號及南京來電第一四一號等ノ趣旨ニテ然ルヘク慰撫シ居ル狀況ナルモ中國側ニテ依然差別待遇撤廢ヲ實行セサルハ甚不都合ナルニ付冒頭青島來電ノ次スル事ト相成リ居ルヤニテ今日迄經過ヲ待チ居リ候次第ニ有之候然ル處本年五月一日ヨリ全國鐵道運貨ハ一律ニ二割

600 昭和6年8月26日 在青島堀總領事代理より  
幣原外務大臣宛

綿糸布に対する鐵道運賃差別につき在華日本紡績  
同業会青島支部より撤廃方請願書提出について

機密第五〇六號  
昭和六年八月二十六日  
(9月4日接受)

在青島

總領事代理領事 堀 公一〔印〕  
外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

綿糸布ニ對スル鐵道差別運賃ノ件

本件貨物分等表暫訂增加修改表ニ付テハ七月二十四日附普  
通第四四七號拙信ヲ以テ報告置キタル處右暫訂修改表ニ依  
レハ綿糸ハ依然内外品ノ差別待遇ヲ受クルノミナラス新ニ  
綿糸ニ對シ普通品、優等ノ差別ヲ設ケ外國人工場製品ハ華  
人工場製品ト市價同等ナルモノニ付テモ一律優等品トシ華  
人工場製品ハ一律普通品トシテ依然實際上差別ヲ實施シ居  
る趣ヲ以テ右撤廃盡力方在華日本紡績同業會青島支部ヨリ  
願出アリタルニ付委細別紙寫ニ依リ御了悉ノ上此上共本件  
是正方御高配相煩度シ

本信寫送附先 在支公使 北平 南京 天津 上海  
膠濟鐵路ニテハ昨年來外國資本工場製綿布ト中國人工場產  
綿布トノ差別運賃ヲ實施シ居リシカ過般中央政府ヨリハ右  
差別運賃ハ撤廃改訂スヘキ様佈告アリシニ不拘實際ニ於テ  
ハ何等改訂セラレル事ナク五月一日ヨリハ更ニ一律ニ運賃  
二割ノ値上ヲ實行シ差別運賃ノ程度ハ其丈ケ增加セラレタ  
リ

更ニ今回ハ又右二割値上ノ儘中央鐵道部頒行ノ「暫定增加  
修改表」ニ據リ從來無差別ナリシ外國資本工場ト中國人工  
場製綿糸ヲ優等品ト普通品トノ名稱ヲ以テ區別シテ運賃ヲ  
改訂シ八月一日ヨリ實施致居リ候即チ中外綿糸ノ字句ヲ避  
ケ代フルニ優等品普通品ノ字句ヲ用ヒ表面差別運賃ヲ撤廃  
シタル如ク装ヒ實際ノ運用ニ當リテハ外國輸入品及在支外  
人工場製品ハ優等品トシテ三級運賃ヲ支那製品ハ普通品ト  
シテ四級運賃ヲ課シ居リ候即チ之ヲ數字的ニ舉クレハ

外人側製品 青＝濟間十五噸車一車運賃

百八十元三十六仙  
百四十一元三角  
昭和六年八月二十日

在華日本紡績同業會青島支部

支那人側製品

トナリ日支製品ノ差ハ實ニ三十九元六仙トナリ之ヲ舊運賃

ニ比スレハ日本側製品ハ三十六元六仙ノ增加支那側製品ハ

三元ノ低下ト相成ル可ク候

尙綿布運賃ハ右改訂表ニ記載セラレ居ラサルニ付キ舊規定

ニ因リ依然トシテ差別待遇ヲナシ外人側製品ハ二級運賃支

那人側製品ハ四級運賃ヲ課シ加之既述ノ運賃二割増加ノ儘

適用シ居ルモノト想像スルニ難カラス候即チ之ヲ數字的ニ

擧クレハ

外人側製品 青＝濟間十五噸車一車

二百三十元九十四仙  
百三十五元九十仙

第二三四號

鐵道運賃修正表ニ依ル優等品、普通品ノ實際取扱振リニ付

テハ八月廿六日附機密第五〇六號拙信報告置キノ處其後内

査ノ結果鐵路局ノ車務處ヨリ(加賀山車務處長歸朝中)各

驛長ニ對シ八月十日附ヲ以テ中國製品ハ普通品トシ輸入又

ハ外國人工場製品ハ優等品トシテ取扱フヘキ旨指令ヲ發シ

居ルコト判明シタルニ付加賀山ヨリ抗議ノ結果九月三日前

記指令取消方更ニ指令セル趣ナリ今後ノ取扱振リ注意中ナ

ルモ右不敢

右ノ如ク實際ニテハ從前ヨリモ苛酷ナル差別運賃ヲ實行  
重大ナリ早急ニ撤廃セラルヘキ性質ノモノニ有之ヘシト奉  
存候ニ付何卒特別ノ御詮議ヲ以テ之レカ撤廃ニ付御交渉相  
煩ハシ度ク此段奉願候也

公使ヨリ上海へ轉報アリタシ

支、北平、南京、奉天、天津、濟南へ轉電セリ  
坊子、張店、博山へ暗送セリ

~~~~~

602 昭和6年9月5日 在南京上村領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

関業務司長に鐵道運賃差別是正方申し入れに  
ついて

南京 9月5日後発  
本省 9月6日前着

第五二〇號  
往電第四七四號ニ關シ

五日本官新業務司長關廣麟ト會見シ運賃差別待遇問題交渉  
ニ關スル從來ノ經緯ヲ一通り説明シタル處關ハ今回ノ修改

表（青島發閣下宛電報第一六八號）ニ依リ内外品ニ依ル差  
別ハ全部撤廢セラレタル筈ナリト述ヘタルニ依リ本官ハ其

然ラサル次第ヲ指摘シタル上日本ニ最モ關係アル綿絲ノ如  
キハ新ニ事實上ノ差別待遇ヲ受クルコトナレル次第ヲモ

説明シ之カ廢止ヲ要求スルト共ニ更ニ貨物ヲ優等品普通品

ト分類スルカ如キ場合ニモ分類ノ標準ヲ明カニシ外國品ニ  
對スル差別待遇ヲ撤廢スルノ趣旨ヲ貫徹スル様規定スル必  
要アリトノ趣旨ニテ懇談シタル處關ハ趣旨ハ良ク諒解セリ

綿絲ノ新分類ニ依リ日本商人ニ迷惑ヲ及ホシタル趣ハ誠ニ  
御氣ノ毒ナリ兎ニ角就任早々ノコトトテ唯今ノ御話ニ依リ  
自分ニ於テ更ニ研究シ見ルヘシトノコトナリシニ依リ明後  
日更ニ會見スルコトシ引取りタリ不取敢

公使ヨリ上海へ轉報アリタシ

公使、北平、奉天、天津、青島へ轉電セリ

603 昭和6年9月23日 在青島川越總領事より  
幣原外務大臣宛（電報）

膠濟鐵路局と交渉の結果綿糸は十六番手以上を  
優等品とする等を決定二十三日より実施について

青島 9月23日後発  
本省 9月23日前着

第二二九號  
往電第二一四號及南京發外務大臣宛電報第五四三號ニ關シ

膠濟鐵路局ト交渉ノ結果綿糸ハ十六番手以上ヲ優等其他ヲ

普通トシ又「マツチ」ハ普通安全「マツチ」ヲ優等黃燐  
「マツチ」ヲ普通（但支那工場製品ハ鐵道部ノ特別命令ニ  
依リ當分四級扱）トシ二十三日ヨリ實施スルコトナレリ

公使ヨリ上海へ轉報アリタシ

公使、南京、北平、奉天、天津へ轉電シ濟南、坊子、張店、  
博山へ暗送セリ

~~~~~